



ぐんま 教育フェスタ

みんなでつくる、一歩先の学びのかたち

令和8年2月7日

土

9:00～12:25

群馬県総合教育センター

研究発表

総合教育センターの7つの係・長期研修員、長期社会体験研修員、日本語指導スーパーバイザー(JSV)が今年度の研究を発表します。

特別コーナー

今年度の特別研修員30名の研究内容がまとめられた概要版とぐんま教育賞（杉の子賞）受賞に係る情報を展示します。

特別発表

群馬県教育委員会義務教育課、特別支援教育課、群馬大学教職大学院がこれからの群馬県の教育の在り方について特別発表を行います。

研究発表



「研修観の転換」と「教職の魅力向上」

～「校内研修」と「次世代へ教職の魅力の発信」を通して～
時間的・精神的な負担の軽減に向けて、校内研修すぐ活用できる「30分間研修パッケージ」などを提案します！また、教職に興味のある次世代が求めるニーズを分析し、未来を創る教員養成セミナーやインターンシップの充実について提案します！両者について、共に考えませんか？ 研究企画係

明日から使える!!

「小学校×特活」・「高校×授業」!! ～「非認知能力」「エージェンシー」

「学びに向かう力・人間性等」に焦点を当てた実践例～

小学校籍の研修員は、複数の学校行事を横断しながら児童の「非認知能力=『こころの力』」を育てる実践を、高校籍の研修員は、「深い学び」を目指した授業改善の過程で、「学びに向かう力・人間性等」の育成に着目した実践をしました。研究の成果として、先生方の明日からの指導に取り入れられる具体的な「しきけ」を共有します！ 高校教育研究係

誰もが共に生き生きと 学ぶことができる学校を目指して

インクルーシブ教育の実現に向け、多様な児童生徒が「やりたい」でつながり、共に生き生きと学べる授業づくりを研究しました。小・中学校、特別支援学校の、どの学校でも・どの学年でも・どの学級でも・どの教科でも、誰でも実践できる授業づくりを通して、誰もが共に生き生きと学ぶことができる学校について、一緒に考えましょう！ 特別支援研究係

学校に行けない・行きたくない子どもへの 包括的な支援の在り方

～保護者と教職員が子どもへの理解を深め、
よりよい関わりができるためのアプローチを通して～
学校に行けない・行きたくない子どもが社会的自立への一歩を踏み出すには、「安心安全な環境」と「理解してくれる人の存在」が欠かせません。そのための保護者支援と教職員のチーム支援について提案します。また、自分のアバターを作り、「つなサポ」の一日を40分間の短縮版で体験してみませんか。お待ちしています。 子ども教育相談係

長期社会体験研修

企業等での研修を通じ、社会的識見と教科の専門性を高め、本県のキャリア教育の中核を担う指導的人材の育成を目的とします。企業等での業務、センター研修（キャリア教育・組織運営）、研究協力校での実践を通じ、学校組織の活性化とキャリア教育の充実を目指しています。

特別コーナー

1階エントランスに特別研修員の研究内容概要版とぐんま教育賞受賞に係る情報を展示します。

特別発表

「ぐんまエージェンシースクール 2025」ミーティング

授業改善や非認知能力育成など、「エージェンシー」を発揮する自律した学習者」育成を目指して取り組んでいる実践者を交え、これからの中学校教育について語り合います。意見交流を通して、自分の中にあるエージェンシーに気付き、明日から動き出すきっかけにしませんか。 義務教育課

インクルーシブ教育の推進

「群馬県の目標すインクルーシブ教育」について、みんなで考え、共に創っていきましょう！障害のあるなしにかかわらず、多様な背景のある全ての子供たちが共に学び合える社会の実現を目指し、インクルーシブ教育に係る県の取組を発表します。幅広い御意見をお聞かせください。 特別支援教育課

ぐんまの教師力を高める

群馬大学教職大学院では、勤務校や教師が抱える教育課題を、大学院の教授陣とともに協働しつつ2年間の「課題研究」を通して解決していきます。「ぐんまの教師力を高める」ことを目指して、研究の成果を広く発信します。教職リーダー、授業実践開発、特別支援教育実践開発の各コースの発表に加え、全体討議を行う予定です。 群馬大学教職大学院

ぐんま教育フェスタの詳しいプログラム
は、1月末頃、群馬県総合教育センターの
ホームページでお知らせします。

子供を主語にした学びの実現を目指して
～子供に学びを委ねる上で、学びの質を高める
学習環境の工夫・教師の関わり～
「自律した学習者」の育成に向けて、「見方・考え方」「協働的な学び」「価値付け・方向付け」の視点と2つの手立てで研究しています。子供の「分かった！」「できた！」という教師の喜びについて共に語り合いましょう。 義務教育研究係

教職員がICTを活用して 主体的に資質向上を図ろうとする マインド形成や環境整備に関する研究

～クラウドや生成AIの活用を通して～

今年のテーマは「生成AI」、生成AIは学校現場の「救世主」となるのか…長期研修員は小学校現場でローコストな生成AI研修を実施。また、授業では生成AIを小学校体育のアドバイザーとして活用。その成果について報告します。 教育情報推進係

子供に内在する非認知能力の発揮及び 伸長を促すかけ橋期の教育

～「ぐんまかけ橋プログラム」の 開発・実践・普及過程を通して考える～

幼児教育センターは、上記研究主題に基づき、長期研修員の研究として『幼児期の育ちを生かす小学校第1学年における環境の構成の工夫～「発達に基づいた環境の構成モデル」を活用した児童理解を通して～』に取り組んできました。子供たちが生き生きと学ぶ環境の構成について、一緒に考えてみませんか？ 幼児教育センター

外国人等の散在地域における日本語指導体制の充実 (3年次)

～校内外における連携のための取組と授業実践を通して～

本県の外国人児童生徒等教育の中核としての実践的な指導力や助言力を高め、外国人等の散在地域における日本語体制の充実に貢献します。外国にルートをもつ児童生徒への日本語指導に加え、支援の在り方や体制づくりについて、JSVの実践を紹介しながら参加者のみなさんと一緒に考えます。 日本語指導スーパーバイザー (JSV)

研究発表内容配信！

フェスタ後、各係の研究内容や各研修員の研究内容概要及び研究発表動画を配信します。

